

平成 10 (1998) 年度第 156 回幹事会会議事録

日本光学会 (応用物理学会)

日 時: 平成 11 (1999) 年 1 月 14 日 (木)

13:30~17:30

場 所: 機械振興会館地下 3 階研修 1 号室

出席者: 山口幹事長以下計 29 名

1. 報告事項

1-1. 「光学」編集委員会報告

- ・ 99 年度編集委員の交代案が報告され、了承された。
- ・ 新講義シリーズの執筆候補者が仮決定した。
- ・ 原著論文の投稿が減少しているため、学会、研究会の発表のうち、内容的に優れていると判断されたものは、発表内容に補足の上、速報として投稿することを勧誘していく。
- ・ 2000 年 1 号, 12 号, 2001 年 1 号を記念号として企画する予定である。企画アイデアがある場合は伊東編集委員長, 志村副編集委員長に提案する。
- ・ 紙面カラー化に向けて、予算化の検討を進める。

1-2. 「OR」編集委員会報告

- ・ 年間 130~150 件の投稿目標に対し、98 年度の投稿実績は 91 件であった。
- ・ 98 年度として掲載拒否が 51 件となっているが、非常に多い。98 年度だけの件数ではなく、累計数の可能性もあるが内容不明のため次回までに確認する。
- ・ 但し、いずれにしても拒否率が高いという指摘もあるので編集委員会で議論することになった。
- ・ 投稿があったが未購読の機関がまだ多数あるため、特別会員になっていただくよう勧誘していく。
- ・ 将来計画として、インターネット上での全文公開を検討中である。
- ・ 投稿勧誘を随時行っており、その際に最短 1 か月で掲載できることをアピールしている。

1-3. カラーフォーラム JAPAN '98 結果報告

- ・ 光学 4 学会 (日本色彩学会, 日本写真学会, 照明学会, 日本光学会) の主催で 98 年 11 月 10~12 日に工学院大学にて開催され、230 名の参加を得た。
- ・ 日本光学会の担当幹事を 1 名追加することを希望する。

1-4. 平成 10 年度関西講演会結果報告

- ・ '98 年 11 月 19 日に大阪大学附属図書館吹田分館内視聴覚ホールにて開催された。
- ・ 参加費は無料で、参加人数は 52 名であった。

1-5. 第 32 回光学五学会関西支部連合講演会進捗報告

- ・ 4 月に開催予定であり、準備を進めている。

1-6. 第 24 回光学シンポジウム進捗報告

- ・ 開催日は 7 月 1, 2 日に決定した。
- ・ 場所は、例年通り東京大学生産技術研究所で開催する。
- ・ テーマも、例年通り「光学系および光学素子の設計、製作、評価を中心として」とする。
- ・ 新たに講演募集ポスターを作成した。また、今回からビデオプロジェクターを使用可能として、さらに予稿提出を従来のオフセット原稿に加えて電子ファイルでも受け付けることとした。
- ・ 1 月 11 日よりホームページに光学シンポジウムの募集記事を載せており、13 日現在のアクセス数は 43 件である。

1-7. 冬期講習会結果報告

- ・ 1 月 12, 13 日に東京大学生産技術研究所にて開催された。参加人数は学生を含め 40 名であった。
- ・ 参加費無料の懇親会を開催し、盛況であった。
- ・ 反省点としては、企画スタートが遅れたため、広報活動期間が短かったこと、および開催日が正月休み明けに近かったことが挙げられる。
- ・ 今回、会員には e-mail で広報活動を行ったが、今後も広報活動手段として e-mail を活用してよいかとの質問があった。日本光学会の活動内容の広報手段として e-mail を活用することは問題ないことが幹事会で確認された。
- ・ 東京大学生産技術研究所が六本木から駒場に移転するが、会議室の移転日程は未定であり、しばらくは行事に借用できることが確認された。

1-8. 平成 11 年度幹事選挙結果報告

- ・ 平成 11 年度幹事の選挙結果が報告された。投票総数は 281 票、白票 4 票、無効票 14 票で、幹事会推薦者が全員当選となった。
- ・ 今後、投票ハガキに意見欄を設けることになった。

1-9. ICOSN '99 進捗報告

- ・ 6 月 16~18 日にパシフィコ横浜で開催する。
- ・ 最終的に 165 件の申し込みがあり、内容に問題ないため全件受理した。
- ・ オーラルは全 22 セッション、各セッション 4~5 件で全 98 件、およびポスターセッションが 67 件となった。冒頭にプレナリー講演が 1 件入る。
- ・ プログラムの校正刷りができつつある。

1-10. OPTICS JAPAN '99 開催計画

- ・来年度は、河田現幹事に副幹事長兼 OJ 実行委員長をお願いしたい。
- ・開催日は実行委員長の希望を入れて、11月23、24日とする。
- ・開催場所は、大阪大学コンベンションセンターの予定であり、500名収容の大ホール1、150名収容のホール3、計4会場の仮予約をしている。
- ・全参加者が集まる時間を増すため、大ホールでの招待講演件数を増やし、他学会からの招待講演を積極的に取り入れることを考えている。

1-11. 平成10年度(第39回)光学論文賞選考委員会の審査結果

- ・応募総数は全9件(自薦2件, 他薦7件)であった。
- ・'98年11月30日に選考委員会が行われ、劉紀元氏(理化学研究所光工学研究所)、尾藤洋一氏(計量研究所量子部)の2氏の論文に決定し、12月14日の応物理学会で承認された。内容は光フィードバックによる半導体レーザー干渉縞のロック、およびGaAs結晶を使った高性能空間光変調器に関するものである。

1-12. 国際協力関連報告

- ・Joint Membership Directory (SPIE-OSA-OSJ)は、今後3年に1回改訂される予定である。

1-13. 日本光学会会員動静

- ・今後、幹事会ごとに会員動向数を報告する。
- ・前年同月との比較ができるか否かを検討することになった。

1-14. Optical Review 特別会員数報告

- ・機関購読制度の廃止に伴い、各機関に特別会員への移行登録をお願いしているが、未だに29機関に関して移行への確認が取れていない状況である。

1-15. 第33回サマーセミナー準備状況

- ・会場は上智大学軽井沢セミナーハウスを予定しており、従来よりも費用を削減できる。
- ・従来は8月後半に開催していたが、企業、大学の夏休み、また秋の応物と重ならないことを考慮して9月16~17日の2日間、あるいは16~18日の3日間の開催とすることを計画している。
- ・「光学」3号にはアナウンスを掲載したほうがよいので、次回幹事会を待たずに実行委員会にて詳細を詰めていく。

2. 審議事項

2-1. 平成11年度幹事会活動計画案

- ・来年度はOJ '99が11月に大阪で開催される予定であ

る。従来は同時期に関西講演会が開催されていたが、時期、場所が重なるため来年度は開催の必要性があるかとの質問があった。これに関し議論した結果、従来の地域枠を広げる(例えば四国で開催)等の意見が出され、検討することになった。

- ・各行事の広報活動は、各行事実行委員会で担当するのか、あるいは幹事会広報担当幹事が担当するのかに関して議論した。広報活動には各行事の予算も関係し、幹事会広報幹事では判断できないため、各行事実行委員会で担当する。広報幹事が広報の手順に関する資料を用意しておく。

2-2. 会員名簿作成について

- ・1991年以来、会員名簿が作成されておらず、内容にかなり変更があると予測されるため、新名簿作成が提案された承された。
- ・詳細内容を検討・提案するためのワーキンググループは庶務、会計、記録 HP 幹事で構成し、年内配布を目標に作業を開始する。

2-3. 幹事、常任幹事の取り扱いについて

- ・幹事(会)と常任幹事(会)が規約により分かれているが、審議は幹事会と常任幹事会の区別なく継続的に行われている。常任幹事は幹事会、常任幹事会の両方に参加しているが、幹事は幹事会のみのお出席となっており、一連の審議に継続的に参画できないという問題が生じている。
- ・当面現状どおりとし、必要に応じて幹事も常任幹事会に招聘する。
- ・E-mailによる報告あるいは審議等も考えてよいのではないか、との意見もあった。

—以 上—

第72回微小光学研究会

日 時：1999年5月12日(水) 10:00~17:20

場 所：東京大学生産技術研究所3階第1会議室

(東京都港区六本木7-22-1, 地下鉄千代田線乃木坂駅下車徒歩3分, または日比谷線六本木駅下車徒歩8分)

テーマ：環境光学

演 題：

- 1) [基調講演] 環境がビジネスになる条件
安井 至 (東大)
- 2) ITO膜を用いた透明電磁波吸収体
橋本 修 (青学大)
- 3) アレイ型光ファイバーセンサーによる音環境の測定
中村健太郎 (東工大)

- 4) コヒーレントレーザーレーダー
大田啓光 (防衛庁 2 研)
- 5) レーザー誘雷
島田義則 (レーザー技術総合研究所)
- 6) 高輝度 LED の農林・水産, 医学, 衛生, 交通および宇宙ステーションにおける新応用
岡本研正 (香川大)
- 7) [特別講演] 光触媒と環境
藤嶋 昭 (東大)
- 8) 太陽電池一発電するシートの開発一
市川幸美 (富士電機)
- 9) 鉛ガラスに係わる環境規制
荻原 覚 (荻原技術士事務所)
- 10) 廃光ファイバのリサイクル研究開発
吉井友彦 (東レエンジニアリング)
- 11) レンズ付きフィルムのリサイクル
内田祥一 (富士写真フイルム)

(研究会のプログラムは微小光学研究グループのホームページ <http://www.din.or.jp/~microopt/>でもご覧いただけます。)

参加費： 一般 4,000 円, 学生 1,000 円 (資料代を含む)
当日ご持参ください。

参加申込： 不要 (直接会場にお越しください)

問合せ先： 渡部 昭憲 (NTT)

電話 0422-59-3180 Fax 0422-59-3274

E-mail: watabe@tasc.cae.ntt.co.jp

第 5 回光インターコネク特情報処理研究会・第 86 回光コンピューティング研究会

主 催： 電子情報通信学会光インターコネク特情報処理研究会

日 時： 5 月 17 日 (金) 10:10~

会 場： 東京大学山上会館大会議室

テーマ： 光インターコネク特技術の今後の技術動向とそれに向けたデバイス開発

講演予定：

第 1 部 光インターコネク特システム技術動向

- 1) 超高精細動画像の実時間通信・信号処理システム
藤井竜也 (NTT 未来ねつと研究所)
- 2) 光交換と光バーストパケット通信用インタコネクシオン
山田義朗 (NTT 未来ねつと研究所)
- 3) 高速ルータの構成技術
野島 聡 (富士通研究所)

第 2 部 光インターコネク特向けデバイスの開発動向

- 1) システムオンチップにおける IP コアとしての光インターコネクシオン-OIP (Optical interconnection Intellectual Property)一
吉川隆士, 菅生繁男 (RWCP 光インターコネクシオン NEC 研究室)
- 2) 短光パルス信号を NRZ データ波形に直接処理可能な光制御半導体レーザー
野中弘二 (NTT 未来ねつと研究所)
- 3) 光インタコネクシオン用次世代超高性能レーザーの開発一量子ドットレーザーと三元基板レーザー
石川 浩 (富士通研究所)
- 4) チップ間光配線のための光電子集積化技術一異種ウェハ間直接接合技術一
和田 浩, 佐々木浩紀, 上條 健
(RWCP 光インターコネクシオン沖研究室)

会場までの交通： 地下鉄丸の内線本郷三丁目下車徒歩約 12 分, 地下鉄南北線東大前駅下車徒歩約 10 分, 地下鉄千代田線根津駅下車約 12 分, 地下鉄都営三田線春日駅下車徒歩約 15 分

問合せ先：

笠原健一 (日本電気)

電話 03-3798-6555

E-mail: kasahara@p10-22040.star.nec.co.jp

石川正俊 (東京大学)

電話 03-5800-6569

E-mail: ishikawa@k2.t.u-tokyo.ac.jp

第 24 回光学シンポジウム

日本光学学会主催の第 24 回光学シンポジウムを 1999 年 7 月 1 日 (木), 2 日 (金) に東京大学生産技術研究所で開催することを予定しております。詳細は本誌第 28 巻第 2 号綴じ込みの案内または日本光学学会ホームページ (<http://wwwbase.nacsis.ac.jp/osj-ap/index.htm>) をご覧ください。

測光のセミナー

日 時： 1999 年 5 月 14 日 (金) 13:30~17:00

場 所： きゅりあん (品川区立総合区民会館, 東京都品川区東大井 5-18-1)

主 催： (社)照明学会光放射の応用・関連計測研究専門部会, (社)日本照明委員会 (JCIE) 第 2 部会国内委員会

協 賛： 日本光学学会

内 容： 測光の基礎と応用一LEDをはかる一

参加費：日本光学会会員 5,000 円，一般 7,000 円，学生 1,000 円

問合せ先：(社)日本照明委員会事務局 小川和恵

電話 03-5294-7200 Fax 03-5294-0102

E-mail: ciejapan@mb.infoweb.ne.jp

International Symposium on Multispectral Imaging and Color Reproduction for Digital Archives **論文募集**

分光画像と色再現に関する国際シンポジウムを下記の要領で開催いたします。14 件の招待講演を中心としておりますが、ポスター形式による一般講演も受け付けます。多数の皆様の参加をお待ちしております。

日 時：1999 年 10 月 21 日 (木)，22 日 (金)

場 所：千葉大学けやき会館 (千葉市稲毛区弥生町 1-33, JR 総武線西千葉駅下車徒歩 1 分)

主 催：分光画像研究会

後 援：情報処理振興事業協会 (IPA) (予定)

協 賛：日本写真学会，日本画像学会，日本光学会，日本色彩学会，IS&T 東京支部，埋蔵文化財写真研究会，日本オプトメカトロニクス協会 (いずれも予定)

招待講演者：

Brian A. Wandell (Stanford University, USA)

John J. McCann (McCann Imaging, USA)

Francis Schmitt (Ecole Nationale Supérieure des Telecomm., France)

Lindsay W. MacDonald (University of Derby, UK)

Michael A. Kriss (University of Rochester, USA)

Roy S. Berns (Rochester Institute of Technology, USA)

Joyce Farrell (Hewlett-Packard, USA)

Yeong Ho Ha (Kyungpook National University, Korea)

Shoji Tominaga (Osaka Electro-Commun. University, Japan)

Johji Tajima (NEC Corporation, Japan)

Hiroaki Sugiura (Mitsubishi Electric Corporation, Japan)

Po-Chieh Hung (Konica Corporation, Japan)

Mituo Kobayashi (University of Electro-Commun., Japan)

Yoichi Miyake (Chiba University, Japan)

一般講演の応募方法：講演題目，氏名，所属，連絡先 (住所，電話番号，fax 番号，e-mail アドレス) および 100

words 程度のアブストラクトを下記宛てに e-mail またはファクスで送付。

応募締切：1999 年 5 月 25 日 (火) 必着

予稿の提出：採用した講演については，カメラレディ原稿 4 ページを提出していただきます。予稿の締切は 8 月 25 日 (水) です。

参加費など：一般 20,000 円 (論文集，懇親会費含む)，主催・協賛学協会員 16,000 円 (同上)，学生 4,000 円 (論文集・懇親会費は別。追加論文集代 4,000 円，懇親会費 4,000 円)

応募先・問合せ先：連企画 八木橋利昭

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-12-14 第 2 日化ビル
電話 03-3433-2543 Fax 03-5403-7216

E-mail: ren.associates@ma3.justnet.ne.jp

新入会員

個人

| 会員番号 | 氏 名 | 所 属 |
|-------------|-------|---------------------|
| A → B 42177 | 高和 宏行 | ユニオプト |
| B 43108 | 村川 真弘 | 旭硝子郡山電材・光試作開発課 |
| B 44011 | 尾藤 洋一 | 計量研究所・量子部 |
| B 45927 | 武藤 一義 | 睦コーポレーション・研究部 |
| B 50546 | 宇佐美由久 | 富士写真フィルム・記録メディアセンター |
| B 50547 | 木部 剛 | フルヤ金属・つくば研 |
| B 50592 | 神谷 雅男 | 伊藤光学工業・技術部 |
| B 50596 | 羽生 能行 | テルモ・研開センター |
| B 50623 | 堀之内 英 | 通信・放送機構・千歳ホトニクスセンター |
| B 50625 | 北村 昌幸 | 東京エレクトロン東北・相模(事) |
| A → B 50638 | 佐々木 基 | 澁谷工業・メカトロ(事) |

特別会員

| | |
|---------|------------------|
| 7100252 | 国立天文台図書室 |
| 7100255 | コニカ・オプト事業部 |
| 7100256 | 古河電工・資料センター |
| 7100263 | 富士通・技術情報センター |
| 7100266 | 松下電産・技術総務センター |
| 7100267 | 三菱電機先端技術総研・開発支援部 |

日本光学会 news の掲載申込み先：

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学工学部情報画像工学科 羽石秀昭

電話 043-290-3263 Fax 043-290-3262 E-mail: haneishi@ics.tj.chiba-u.ac.jp

なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成11年度幹事 (*常任幹事)

| | | |
|-----------------------|------------------|---------------|
| 幹事長： | 山口 一郎* (理研) | |
| 副幹事長： | 河田 聡* (大阪大) | |
| 庶務幹事： | 吉川 浩* (日本大) | 佐藤 浩志* (コニカ) |
| | 小野寺理文* (職業能力開発大) | 石渡 浩* (オリンパス) |
| | 羽石 秀昭* (千葉大) | 米山 修二* (旭光学) |
| 会計幹事： | 栗木 一郎* (東京工業大) | 埜田 友也* (ニコン) |
| 『光学』編集幹事： | 志村 努 (東京大) | 大坪 順次 (静岡大) |
| | 伊藤 雅英 (筑波大) | 中川 清 (神戸大) |
| 『OPTICAL REVIEW』編集幹事： | 朝倉 利光* (北海学園大) | 一岡 芳樹 (大阪大) |
| 国際協力幹事： | 佐藤 平八 (防衛大) | 黒川 隆志 (東京農工大) |
| | 芳野 俊彦 (群馬大) | 松本 弘一 (計量研) |
| 将来問題担当幹事： | 久保田重夫 (ソニー) | 岩田 耕一 (大阪府立大) |
| 前幹事長： | 横田 英嗣 (東海大) | |
| 企画・事業担当幹事： | 亀丸 俊一 (北見工業大) | 羽根 一博 (東北大) |
| | 北島 巖 (福井大) | 佐々木修己 (新潟大) |
| | 須原 浩之 (リコー) | 坂田 肇 (キヤノン) |
| | 松原 浩司 (電総研) | 本宮 佳典 (東芝) |
| | 石川 和枝 (上智大) | 岡井 誠 (日立) |
| | 天野 主税 (NTT) | 伊藤 博 (トヨタ) |
| | 北川 洋一 (兵庫工業試験所) | 財部 健一 (岡山理科大) |
| | 今井 洋 (九州工業大) | |
